

今後発生が想定される首都直下地震発生時の応援職員派遣に係る
アクションプラン策定のためのワーキンググループ（第3回）
【議事要旨】

1 日 時 令和8年2月16日（月）15：00～17：00

2 開催方法 WEB 会議形式（Teams）

3 出席者

【構成員】（五十音順）

大井 文恵 （徳島県危機管理部次長）
大野 尚毅 （千葉県防災危機管理部危機管理政策課長）※代理：村杉室長
小川 拓馬 （全国知事会調査第二部副部長）※代理：竹井主任主事
鹿志村 泉 （茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課長）
工藤 一祥 （北海道総務部危機対策局危機対策課災害支援担当課長）
菅瀬 優生 （東京都総務局総合防災部防災対策課危機管理調整担当課長）
菅野 しのぶ （全国市長会行政部参事）※代理：高村主事
住谷 憲昭 （熊本市政策局危機管理防災部首席審議員兼危機管理課長）※代理：田口主幹
関口 大樹 （埼玉県危機管理防災部災害対策課長）
高橋 明 （豊中市危機管理監）
多鹿 雅彦 （兵庫県危機管理部防災支援課広域防災官）
中尾 慶一郎 （宮崎県総務部危機管理局長）※代理：長友主幹
弘中 誠 （全国町村会行政部副部長）
茂木 政樹 （川崎市危機管理本部危機管理部担当課長）
諸岡 佑磨 （指定都市市長会調査・企画担当次長）
谷内 勇人 （石川県危機管理部危機対策課長）
山本 武史 （神奈川県くらし安全防災局防災部危機管理防災課長）
横谷 光俊 （宮城県復興・危機管理部防災推進課長）

4 概要

- ・ 応援編成計画（受援都県と即時応援道府県等との組合せ）について

【資料説明】

会議資料について事務局から説明

【意見交換】 ○構成員 ●事務局

(1) 論点①（先遣隊派遣団体関係）について

- 即時応援道府県等のうちある程度到着時間が早いと推測される数団体に先遣隊派遣の役割を担っていただくことが現実的ではないか。
- また、具体的な先遣隊派遣団体の選定については、発災時の臨機応変な対応を可能とする観点から、アクションプランに規定するよりも、現地調整会議準備会での議論に委ねることとしてはどうか。
- アクションプランに先遣隊派遣団体を規定するよりは、先遣隊派遣団体と受援都県、双方で把握できていればよいと考えており、現地調整会議準備会での議論の中で決めていくことに賛同する。
- 各府県内での説明がしやすいことなどから、アクションプランに明確に規定されることが望ましいのではないかと考える。
- 先遣隊派遣団体をアクションプランに規定した場合、今後先遣隊派遣団体の変更が生じた際にその改正等の手続が増えてしまうため、必ずしもアクションプランに規定しなくてもよいと考えている。
- これまでのご意見を踏まえると、アクションプランの改正は手続と時間を要するため、柔軟かつ迅速な対応が可能となるよう、アクションプランに規定しないこととし、また、各現地調整会議準備会での議論・決定が円滑に進むよう、あらかじめ総務省から先遣隊派遣団体の案を作成して提示することとしてはどうか。
- 事務局から先遣隊派遣団体の案を示していただけなのであれば、必ずしもアクションプランに明確に規定する必要はないと考える。

(2) 論点②（即時応援道府県等（基本となる組合せ）関係）について

- 基本となる組合せの団体を複数指定してはどうか。
- 基本となる組合せの団体と先遣隊派遣団体は重複してもよいこととし、総務省からは例示した先遣隊派遣団体（兼）統括役の団体を提案し、最終的には各現地調整会議で議論して決定することとしてはどうか。
- 役割分担についても、総務省から提案いただけるのか。
- 先遣隊の役割分担については、主担当と副担当のような形での提案を想定している。

(3) 応援編成計画（案）について

- 応援編成計画（案）について、（特段の意見は出なかったが、）改めて意見照会をさせていただく。

以上